

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）オオサカケイザイホウカダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）セキゼミ
大阪経済法科大学	経済学部	関ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ダイオウグソクムシ	フリガナ）ソノハノゾミ	4	無
ダイオウグソクムシ	園部望美		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

パワーポイント

研究テーマ（発表タイトル）

日本酒の若者離れ～缶によるユーザ獲得に至るプロセス～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

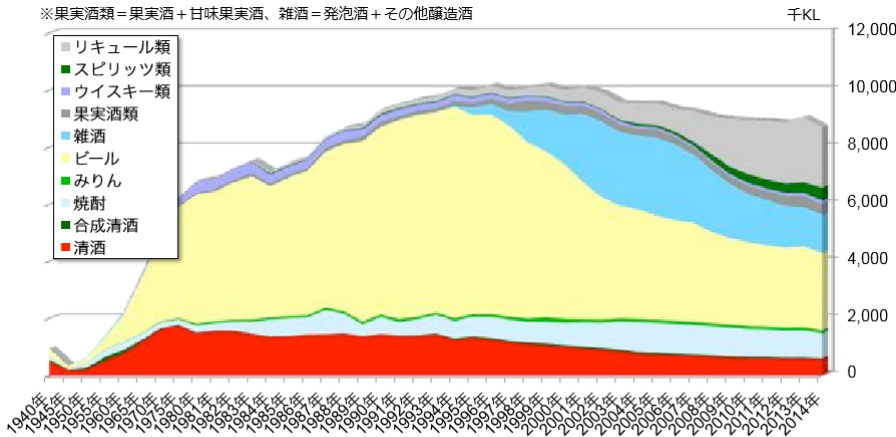
私たちのグループは、若者に焦点を当て、日本酒消費量の促進を図ることで、当該産業の活性化の一助となる課題解決策を提起することを目的とする。若者の日本酒離れが目立つ昨今、若者が日本酒に対してどのようなイメージを持っているか、消費量を増加させるには何が求められているかを探り、日本酒の売上を増加させる打開策を研究する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

戦後、アルコール飲料市場は拡大を続けたが、1999年を頂点に減少傾向にある。とりわけ、日本酒市場では1975年を頂点に長期縮小傾向にある。近年、地酒を筆頭に、日本酒ブームと言われていることもあるが、日本酒市場全体では長期縮小傾向に変化はない。若者の清酒消費量においても停滞傾向にあり、日本酒市場全体の趨勢と同様の動きを示しているが、マーケットにおける今後の主役となるはずの若者の日本酒離れが加速していくことは、日本酒市場の衰退を牽引することに繋がるだろう。

一方、アルコール類の中でも、リキュール・チューハイ等の消費量は増加傾向にある。若者の消費傾向は、ビールからの需要流入を受けてチューハイが好調に推移する一方で、日本酒に対する反応度は低い。

※果実酒類 = 果実酒 + 甘味果実酒、雑酒 = 発泡酒 + その他醸造酒



国税庁 酒のしおり（平成27年3月） 酒類課税数量の推移（国税局分及び税関分の合計）

3. 研究テーマの課題

先行研究では酒の種別ごとの調査はあるが、形態別（容器別）の調査は少なかった。そこで私たちは、その点に着目し、缶や瓶などの容器が若者の消費行動にどのように影響を与えるのかに焦点を当てる。

酒市場では酒の種類ごとにメインパッケージがはっきりしており、容器が消費者に与える影響が特に強い。ビール・チューハイは缶が主体であるのに対し、日本酒は瓶や紙パックが主体である。しかし、世代によっては、そのイメージも異なるかもしれない。たとえば、紙パックの日本酒の消費者の多くが高齢者となっているため、高齢者は日本酒というと紙パックをイメージするかもしれない。一方、若者は日本酒というと居酒屋などの料飲店で並ぶ瓶の日本酒をイメージすることが予測される。

それには日常の飲酒習慣や経験の違いが影響していると考えられる。そのため、まずは若者の飲酒に対する傾向をアンケート調査によって明らかにする。さらに、商品の容器と消費行動の関係も分析する。その上で、酒の種類と容器との間には固定的なイメージが形成されているかどうかを検証する。そうすることで、先行研究ではあまり捉えられてこなかった、商品の容器と消費行動の関係について、若者の特徴を加味しながら分析・検討する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

これまで日本酒市場では瓶の商品が主流であり、若年層の新規需要を獲得するためにこれまでスポットが当たることはなかったが、容器に着目することで、若者が親しみやすいイメージを持っている缶での商品が消費行動を促すといったアイデアを提案する。その際、缶の日本酒を販売するといった既存メーカーが販売しているダイレクトな方策は採用しない。むしろ、若者に日本酒を受け入れてもらうために、日本酒の新たな飲み方の提案に始まり、それが定着してから、缶での市場拡大を狙うといったものである。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- 1 若者の飲酒に対するイメージを調査するため、Google アンケートフォームを使用して 20 代の若者を対象にアンケートを行った。（2017年6月12日～9月25日）
- 2 月桂冠株式会社本社へ訪問し、「若年層の取り込みに向けた既存商品のブランディング」についてプレゼンテーションさせていただき、商品開発の観点からフィードバックをいただいた。（2017年10月4日）
- 3 以上をもとに、容器が若者の消費行動に与える影響についてのアンケートを行った。（2017年10月31日～11月12日）

6. 結果や今後の取り組み

アンケート結果から、若者の缶や瓶などの容器に対するイメージが明らかになった。若者のお酒に対する価値観や生活スタイルなどを反映させていく必要があると判断する。

日本酒市場では依然として瓶が主流であり、缶が浸透していない。若者に対する日本酒の新たな市場を開拓するためには、新たな飲み方の提案にとどまらず、これまでとは異なる形態による日本酒の販売を視野に入れていく必要がある。私たちが行ってきた調査および先行研究を参考にしながら、今後も検討を続けていきたい。

7. 参考文献

- ・ 国税庁（2017）「酒のしおり」

<https://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/shiori-gaikyo/shiori/2017/pdf/100.pdf>

2017年11月12日アクセス

- ・ 富士経済（2016）「2017 食品マーケティング便覧 No.2 アルコール飲料」
- ・ ITmedia ビジネスオンライン（2017） 若者の“酒離れ” 20代の訳3割は「飲まない」
〈<http://www.itmedia.co.jp/business/articles/1704/07/news126.html>〉 2017年11月12日アクセス
- ・ 日本酒造組合中央会（2017） 「日本人の飲酒動向調査」
〈 <http://www.sakagura-press.com/wp-content/uploads/2017/05/%E3%80%90%E6%97%A5%E6%9C%AC%E9%85%92%E9%80%A0%E7%B5%84%E5%90%88%E4%B8%AD%E5%A4%AE%E4%BC%9A%E3%80%91%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9.pdf> 〉 2017年11月12日アクセス
- ・ 宝酒造株式会社 松竹梅白壁蔵「霽（みお）」 MIO スパークリング清酒
〈<http://shirakabegura-mio.jp/>〉 2017年11月12日アクセス
- ・ ファミリーマート×日本盛共同開発「Sake Bottle（さけぼとる）」シリーズ新登場！〜リキャップが出来るボトル缶を採用〜（2014）
〈http://www.family.co.jp/company/news_releases/2014/20141224_01.html〉 2017年11月12日アクセス

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑